

【悪魔】 今年も司法試験の合格発表がされましたが、合格者の数が去年より少し減ったそうですね。まあ、2000人合格しているわけですから、昔からすれば多いんでしょうけど、目標値よりいぶん少なくないですか？ 一体何が原因なんでしょう？

【天使】 新司法試験の合格者は、平成22年度までに3000人に達することを目標とし、それまでの各年度で合格者を漸増させていくはずであったから、具体的な結果が目標値を大幅に下回っていることは明らかだ。その理由は明らかにされていないが、要するに、合格させるに足る答案の数が目標値を下回ったということなのだろう。最近では司法修習後に行われる「2回試験」でも不合格者が増加しており、司法試験に合格したにもかかわらず最終的に法曹資格を得られない者が出ているようだから、過度に合格者を増加させてはならないとの抑制が働くことは、やむを得ないと思われる。

【悪魔】 確かに、「弁護士をつけとかなきゃいけないような弁護士」が出てきたりしたら、

悪魔と天使の 法学入門

筑波大学准教授 星野 豊

第32話

法科大学院と法曹養成

一番困るのは依頼者ですからね。でも、あんなに大騒ぎをして始まった法科大学院は、いったい何を受験生に教えているんですか？ お話を伺っていますと、これまでの「2回試験」の傾向からして、合格した2000人の中にも、法曹になれない可能性があるレベルの人が混ざっているかもしれないんでしょう？ だとすると、そもそも2000人の合格者だって多すぎるかもしれないわけですよ。それは、受験生を合格レベルに達するまで教育できなかった法科大学院の責任ではないんですか？

【天使】 受験生の学力は、基本的には当人の努力により向上することが期待されるものだから、司法試験の合格者が全体として目標値を下回ったことや「2回試験」の不合格者が増加したことをもって、法科大学院の教育内容全般に対する批判に直結させることは、議論として望ましくないだろう。実際、多数の合格者を輩出している法科大学院も少なからず存在しているわけであり、制度自体の見直しを柔軟に図っていくことによって、相当の改善がなされるものと考えられる。

【悪魔】　そういう御意見もいろいろなところで耳にしますけど、どういうふうに見直しをすれば受験生のレベルが上がると言えるんでしょうかね？　合格者の少ない大学院の学生定員を減らしたら、その大学院では少人数教育の効果よりも、受験生のレベルがさらに下がる恐れがありますし、各大学院の規模を小さくしたら、これまで評判の良かった一部の大学院への入学試験が激化するだけで、全体としてのレベルは上がらないんじゃないでしょうか？

　　だいたい、大学院の「レベル」というのは、受験生のレベルだけではなくて、そこで教えている「教員」のレベルが影響しているはずでしょう？　ほとんど合格者を出せない法科大学院も結構あるみたいですから、そもそも法科大学院の数自体が多くなり過ぎて、教育レベルが落ちてしまっているんじゃないでしょうか？　学力の向上は基本的に学生本人の責任だ、という御意見は、高等教育である以上その通りだと思いますけど、不幸にして低レベルの教員に当たってしまった学生は、盛大に足を引っ張られて、向上するものも向上しなくなってしまうですよ。



【天使】　法科大学院の設置認可に関しては、原則設立自由という社会全体の雰囲気の中で多数の大学が手を挙げており、それに対して序列をつけることは、少なくとも当時としては時期尚早であったものと言える。また、新司法試験では、法科大学院を修了することが受験の前提条件とされている関係上、特定の地域だけに法科大学院が集中することも望ましくない。受験生にも不安や苦労は多いわけだが、法科大学院側も相応の努力をしていることを認めない限り、議論は建設的なものとならないだろう。

【悪魔】　法科大学院が相応の努力をした結果がこれだったというのなら、発想の根本から変えなければいけないんじゃないでしょうか？　法科大学院は、どんな立派なお題目を並べたとしても、修了者が司法試験に合格しなかったら事実上存在意義がないんですよ？　どうも私から見ますと、これまでの司法試験の結果というのは、司法試験改革が成功しているかどうかというよりも、現在の法学教員の抱えている問題点をそのまま表しているように思えて仕方ないんですよ。